



# 言いたいことが伝わる！リフォーム術 No.12



## 絵が形になる 編

お客様はいいました。「山川草木、いずれ同化していくような空間…」それは、故郷を離れて忘れかけたふるさとの匂いがする空間。忘れかけていたとは言いましたが、忘れるようなものではなかったのです。東奔西走日々に、心の中でずっと止まったままの時間であったのです。その匂いは宝物のようにしまっておいただけでした。そしていつか開けるときを願って…。



お客様とのメールでのやりとりの中で亀工房が感じたままを書いてみましたが、そう感じるがまま、現地調査の時にお客様にプレゼンを試みしました。絵に描いてみた想像の世界。出来上がってみて聞いた声は、「どこか懐かしい空間」でした。なかなか亀工房だけでは想像できない創造物です。お客様にも想像するのは難しい事です。なぜ形になるのか。それは知る事だったのかもしれませんが。お客様が亀工房を知っていただき、亀工房がお客様を知ることができたからだと思いました。メールでのやり取りの中で、亀工房も無謀とも思えるアイデアを出したり、お客さまも集めた情報を思うがまま亀工房にぶつけてみることにあったのだと思います。



素材が生きて 空間が生きて



また一つ生きるものがあると思う



亀工房

<http://www.kame-kobo.jp>